

第56回 **中国四国リハビリテーション
医学研究会**

第51回 **日本リハビリテーション
医学会 中国・四国地方会**

プログラム・抄録集

会期 2024年 **7月14日** 

会場 **島根県立中央病院**

会長 **山本 佳昭**

島根県立中央病院 リハビリテーション科 部長

第56回中国四国リハビリテーション医学研究会
第51回日本リハビリテーション医学会 中国・四国地方会

開催にあたって

第56回中国四国リハビリテーション医学研究会
第51回日本リハビリテーション医学会中国・四国地方会

会 長 山本 佳昭

島根県立中央病院 リハビリテーション科 部長

この度、第56回中国四国リハビリテーション医学研究会、第51回日本リハビリテーション医学会中国・四国地方会の開催をさせていただきますことを大変光栄に存じます。開催にあたり、研究会に43題、地方会に15題と大変多くのご応募をいただきましたこと、心よりお礼申し上げます。

本会では特別講演として、香川大学医学部整形外科学講座の石川正和教授に「変形性膝関節症 ～その予防に向けての再生医療・医療機器開発～」を、川崎医科大学リハビリテーション医学教室の平岡崇准教授に「社会的行動障害の神経基盤とリハビリテーション医療」をご講演いただく予定です。両先生とも素晴らしいご講演をいただけるものと存じます。

会場は当院で、JR 出雲市駅からのバスや、自動車での来場が可能です。駐車場は敷地内にあり収容台数も500台以上あります。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。どうぞよろしく願いいたします。

ご 案 内

1. 参加者の皆様へ

- 1) 当日は備え付けの参加登録票^{*}に必要事項を記入し、受付で参加手続きをしてください。
※参加登録票(PDF)は学会ホームページからも事前にダウンロードできます。
- 2) 受付にて参加費3,000円をお支払いの上、名札を受け取り、所属・氏名を記入し、必ず着用してください。名札のない方の入場はお断りいたします。
- 3) 地方会会員の方には受付で抄録集をお渡しします。研究会会員の方には事前に抄録集を配送しますので、当日は抄録集をご持参ください。抄録集をお忘れの場合は、1冊500円にて販売させていただきます。
- 4) 研修単位申請を希望される方は受付にて手続きを行ってください。
- 5) 中国四国リハビリテーション医学会研究会に入会を希望される方は新入会受付にて手続きを行ってください(日本リハビリテーション医学会中国・四国地方会の当日受付はありません)。
- 6) 学部学生(大学院生を含む)及び専門学生は参加費が免除になります。受付で学生証(身分証)を提示ください。

2. 演者の皆様へ

- 1) Windows 版 Microsoft PowerPoint2019で再生可能なファイルで作成してください。
- 2) スライドショーでのスライド放数に制限はありませんが、6分の発表時間に収まるように調整してください。討論時間は3分です。
- 3) 作成されたプレゼンテーション用 PowerPoint ファイルは、ファイル名を「演題番号+氏名+地方会または研究会」としてください(例:06、島根太郎_地方会)。
- 4) 使用フォントは Windows 基本 OS に標準搭載のフォントを使用してください。特殊フォントや機種依存文字は使用しないでください。スライドサイズはワイド画面(16:9)にて作成してください(標準画面4:3で作成された場合、ずれが生じる可能性があります)。
- 5) ファイル作成後、他のパソコンで正常に作動するかチェックしてください。ファイルのアップロード前に最新のウイルス駆除ソフトでチェックをお願いします。ファイルは2024年6月28日(金)までにアップロードしてください。
- 6) 登録後に修正が発生した場合は、必ず事務局へ連絡後に再アップロードしてください。修正期限は2024年6月28日(金)までとさせていただきます。期日以降のスライド修正は受け付けませんので、あらかじめご了承ください。
※ご連絡がない場合は修正前のファイルでのご発表になる場合があります。
- 7) 登録頂いたファイルは、本会終了後に事務局が責任をもって消去します。
- 8) 事前登録されたプレゼンテーション用 PowerPoint スライドの当日試写はありません。また、学会当日にスライド変更の受け付けはいたしませんので、あらかじめご承知おきください。

3. 座長及び演者の皆様へ

セッション開始10分前までに次座長席、次演者席にお着きください。座長の皆様には各ご担当セッション内で活発な討議がおこなわれますよう、お取り計らいください。

4. リハビリテーション科専門医・認定臨床医の皆様へ

本会では、生涯研修単位を、学会参加でリハビリテーション科専門医師は1単位、認定臨床医は10単位、特別講演1、2でリハビリテーション科専門医は各1単位、認定臨床医は各10単位合計でリハビリテーション科専門医は最大3単位、認定臨床医は最大30単位を取得できます。なお、特別講演にて単位取得ご希望の方は、受付にて各講演1,000円をお支払いください。また、地方会発表の筆頭者はさらに、リハビリテーション科専門医は1講演1単位、認定臨床医は1講演10単位が取得できますので、「専門医・認定臨床医単位取得自己申請用紙」に添付して「発表等の証明となるもの」もしくは「抄録集の表紙および抄録掲載頁のコピー」を日本リハビリテーション医学会事務局へ送付してください。なお、地方会でご発表をされて、専門医試験を受けられる方へ「地方会発表証明書」を発行いたします。ご希望の方は、受付にてお渡し致しますのでお申し付けください。

5. 日本整形外科学会専門医の皆様へ

特別講演1の受講により日本整形外科学会教育研修単位(1単位)の取得が可能です。単位取得をご希望の方は、受付にて講演1,000円をお支払いのうえ、特別講演1の開始時刻の前後10分間に、第1会場入り口付近の単位申請受付用コンピューターのカードリーダーに日整会会員カードを通して申請登録をしてください。

| セッション名 | 時間 | 会場 | 演題名・演者名 | 日整会 | |
|--------|-----------------|------|------------------------------------------------|------|--------|
| | | | | 取得単位 | 必須分野 |
| 特別講演1 | 10:45～ 11:45 | 第1会場 | 変形性膝関節症 ～その予防に向けての 再生医療・医療機器開発～ 石川 正和 | N | 12, 13 |

(受講者へのご案内)

- 日整会会員証カードを必ずご持参ください。
- 単位の反映のタイミングに時間がかかる場合がございます。
- 研修会の単位は認定されたN(整形外科専門医資格継続のための単位)の分野のうち、小さい番号の必須分野に自動的に入ります。他の必須分野や認定医継続のための単位(S、R、SS、Re)を希望される受講者は、開催日より1週間後以降に単位振替システム上で受講者ご自身で希望単位へ振り替えていただく必要があります。

6. 理学療法士の皆様へ

日本理学療法士協会生涯教育基礎研修のポイントは取得できません。

7. 作業療法士の皆様へ

日本作業療法士協会生涯教育基礎研修において、参加・発表で各1ポイントが取得できます。参加者本人が参加証明書(領収証)を添付資料として、会員ポータルサイトから受講履歴登録を行ってください。

8. 言語聴覚士の皆様へ

日本言語聴覚士協会生涯学習プログラムの参加・発表で各1ポイントが取得できます。生涯学習プログラム終了申請の際に、本会 WEB 配信ページ上にてダウンロードいただいた参加証明書や領収証(コピー可)を言語聴覚士協会事務所までご提出ください。

9. セラピストマネージャー認定看護師の皆様へ

回復期リハビリテーション看護師・認定セラピストマネージャー認定資格更新のためのポイント付与対象になります。参加者ご自身で各コースポイント申請月に申請手続きをお願いします。(回復期リハビリテーション看護師認定者は8月、セラピストマネージャーは1月)ポイント申請の手続き方法はオリエンテーションテキストまたは、ホームページ専用サイト「リハ看護師の広場」、「セラピストマネージャーの広場」にてご確認ください。

10. 理事会・幹事会のご案内(12時00分～13時00分)

役員の皆様は、12時00分に職員食堂(2階)にて行いますのでお集まりください。

11. 総会のご案内(13時05分～13時35分)

13時05分までに、第1会場(大研修室)にて開催しますのでお集まりください。

12. 駐車場について

当院の一般外来用駐車場をご利用ください(駐車場は無料です)。

交通案内図



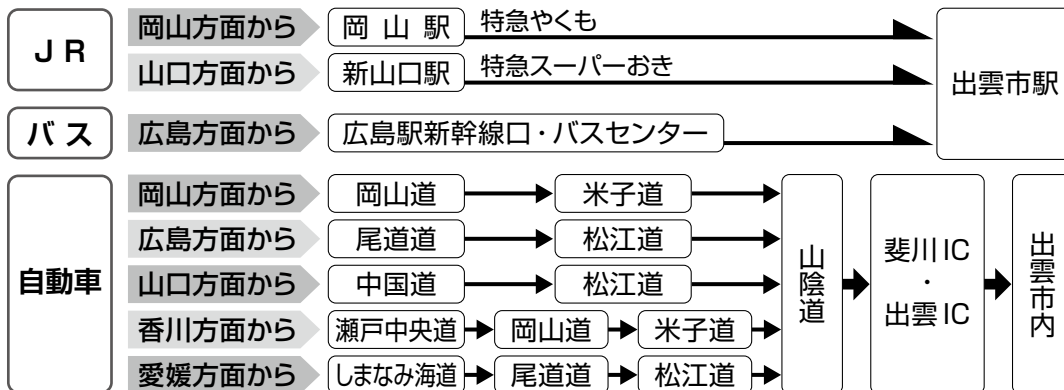
会場

島根県立中央病院

〒693-0068 島根県出雲市姫原4丁目1-1 TEL (代表) 0853-22-5111

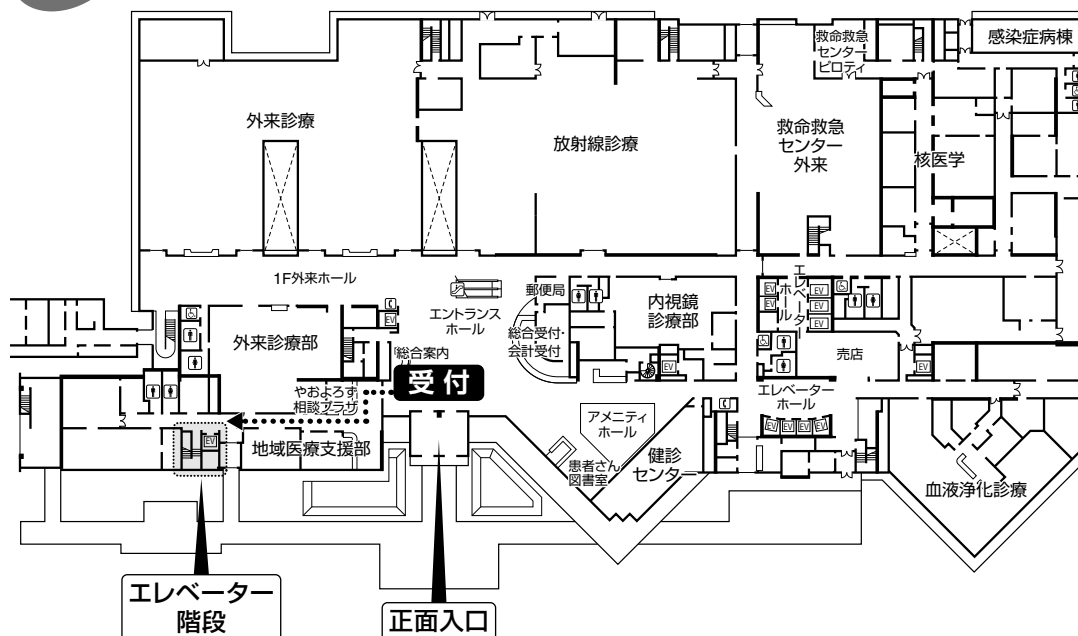
- 出雲市駅より北へ約2km
- 徒歩 …… 約25分
 - バス …… 一畑バス日御碕線・大社線①・大社線③、スサノオ観光バス大寺線で → 「中央病院」下車
 - 車 …… 約5分

● 出雲市へのアクセス

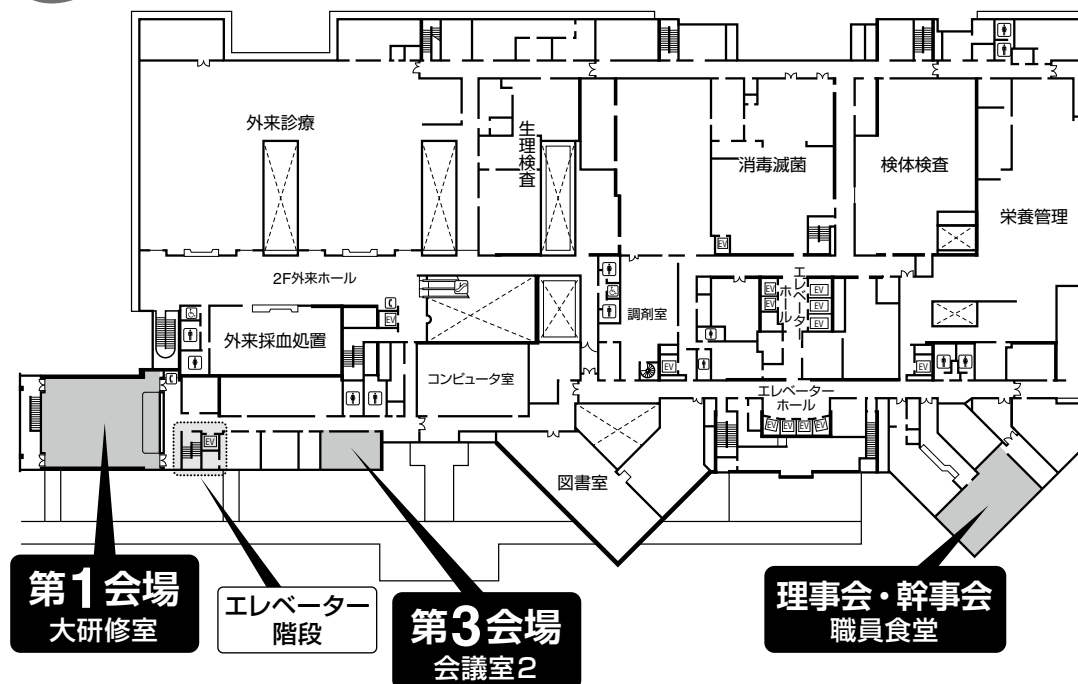


会場案内図

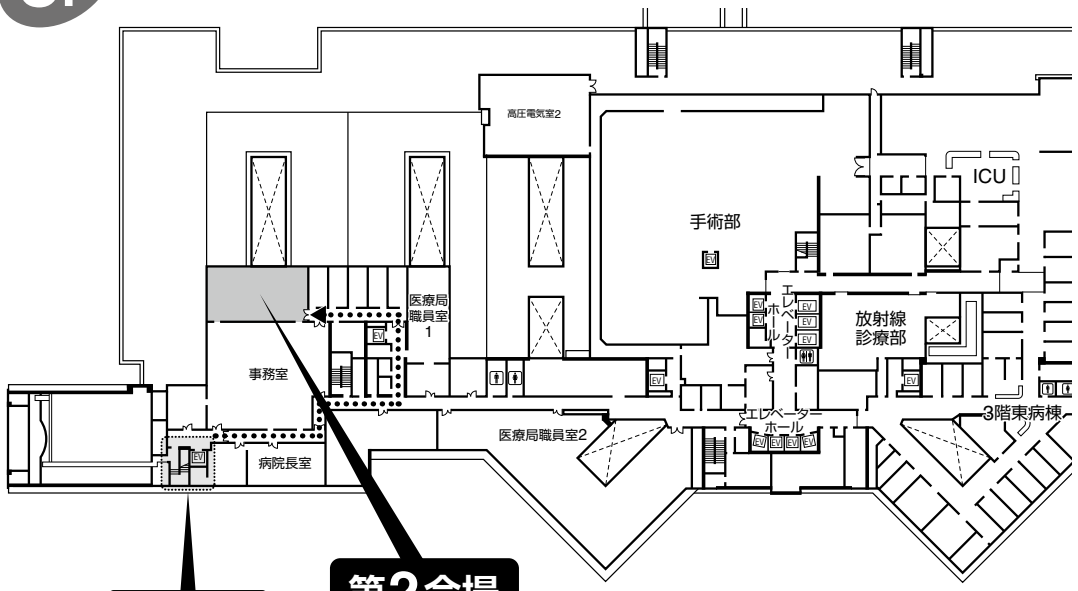
1F



2F



3F



エレベーター
階段

第2会場
会議室1

日 程 表

7月14日(日) 島根県立中央病院

| | 第1会場 2F 大研修室 | 第2会場 3F 会議室1 | 第3会場 2F 会議室2 | 役員会会場 2F 職員食堂 |
|-------|-----------------------------------------------|-----------------------------------------|-----------------------------------------|--------------------------------|
| 8:30 | 8:30~ 受付開始 | | | |
| | 8:50~ 開会挨拶 | | | |
| 9:00 | 9:00~9:45 地方会1(01~05) 座長: 蓼沼 拓 | 9:00~9:45 研究会1(16~20) 座長: 足立 真也 | 9:00~9:45 研究会2(21~25) 座長: 梶谷 宏一 | |
| 10:00 | 9:50~10:35 地方会2(06~10) 座長: 山本 幹枝 | 9:50~10:35 研究会3(26~30) 座長: 稲田 敬典 | 9:50~10:35 研究会4(31~35) 座長: 梶谷 宏一 | |
| 11:00 | 10:45~11:45 特別講演1 石川 正和 先生 座長: 伊達 伸也 | | | |
| 12:00 | | | | 12:00~13:00 理事会 ・ 幹事会 |
| 13:00 | 13:05~13:35 総会・表彰式 | | | |
| 14:00 | 13:45~14:45 特別講演2 平岡 崇 先生 座長: 山本 佳昭 | | | |
| 15:00 | 14:55~15:40 地方会3(11~15) 座長: 福永 典子 | 14:55~15:40 研究会5(36~40) 座長: 野口 瑛一 | 14:55~15:49 研究会6(41~46) 座長: 永瀬 祐太 | |
| 16:00 | 15:45~16:39 研究会7(47~52) 座長: 坪内 史子 | 15:45~16:39 研究会8(53~58) 座長: 高見 由美 | | |
| 17:00 | 16:50~ 閉会挨拶 | | | |

プログラム

開会挨拶 8:50～9:00 第1会場(2F 大研修室)

会長 山本 佳昭(島根県立中央病院 リハビリテーション科 部長)

地方会1 9:00～9:45 第1会場(2F 大研修室)

座長：蓼沼 拓(島根大学医学部附属病院)

- 01** 当院における摂食・嚥下チームの取り組み
島根県立中央病院 リハビリテーション科 山本 幹枝 18
- 02** 神経難病病棟患者における転倒・転落因子の検討
国立病院機構松江医療センター 古和 久典 20
- 03** DSI studio を用いたトラクトグラフィと脳卒中後の機能予後との
関連性評価の試み
社会医療法人社団陽正会 寺岡記念病院 脳神経外科 小池 司 21
- 04** 右前脈絡叢動脈領域の脳梗塞により自動車運転再開に苦慮した一例
鳥取生協病院 リハビリテーション科 門 祐輔 22
- 05** 脳性麻痺児に対する Virtual Reality (VR) 技術を用いた
リハビリテーションの短期経過
旭川荘療育・医療センター 整形外科 田中 千晴 24

地方会2 9:50～10:35 第1会場(2F 大研修室)

座長：山本 幹枝(島根県立中央病院)

- 06** リハビリテーションにより ADL の改善した神経核内封入体病の一例
医療法人はあとふる 八尾はあとふる病院 リハビリテーション科 高橋 和子 26
- 07** 肘離断性骨軟骨炎に対する集束型体外衝撃波の試み
徳島大学病院 リハビリテーション部 松浦 哲也 27
- 08** リハビリテーション科専攻医1年目はなにができるか
当院回復期リハビリテーション病棟の実態調査とあわせて
JCHO 宇和島病院 リハビリテーション科 末松 駿之介 28
- 09** NMOSD 患者に対してリハビリテーション治療と新規薬物療法を行った一例
広島大学病院 リハビリテーション科 岡本 佳奈 30
- 10** 当院におけるダウン症児に対する理学療法の取り組み
鼓ヶ浦こども医療福祉センター 整形外科 黒川 陽子 32

- 11 機械学習による書字機能の定量的スコアリング手法開発
 広島大学病院 リハビリテーション科 田中 肇 34
- 12 造血幹細胞移植前後の運動機能
 岡山大学病院 総合リハビリテーション部 奥山 涼香 36
- 13 成人術後血友病関節症に対してリハビリテーション治療を導入した1例
 広島大学病院 リハビリテーション科 塚原 一樹 38
- 14 食道がん患者の術前化学療法中の大腰筋量低下と術後合併症との関連性
 岡山大学病院 総合リハビリテーション部 堅山 佳美 40
- 15 岡山市における切断者の疫学調査
 岡山大学病院 総合リハビリテーション部・リハビリテーション科 太田 有紀 42

- 16 急性期病院における腰部術後患者の転帰先予測に3-day CASは有用か？
 島根県立中央病院 リハビリテーション技術科 長谷川 福斗 44
- 17 腰部脊柱管狭窄症および腰椎椎間板ヘルニア患者における腰痛の程度と胸郭・胸椎可動性の関連性の検討
 独立行政法人国立病院機構福山医療センター リハビリテーション科 上田 裕太 46
- 18 腰椎除圧術後に生じた動脈スティフネスの変化と活動量の関連
 徳島県鳴門病院 リハビリテーション技術科 田村 靖明 48
- 19 初回時理学療法評価における外来新患 RA 患者の身体特性とADL障害—過去10年間の理学療法項目の罹病期間より—
 田窪リウマチ・整形外科 リハビリテーション室 阿部 敏彦 50
- 20 体組成分析装置の機種の違いが骨格筋量の測定結果に与える誤差について
 地方独立行政法人 徳島県鳴門病院 リハビリテーション技術科 野々瀬 翔吾 52

座長：梶谷 宏一(島根県立中央病院)

- 21 認知行動療法の効果があった骨折術後の急性期疼痛の1例
医療法人徳洲会 出雲徳洲会病院 リハビリテーション科 宅和 祐希 54
- 22 脱髄疾患の回復過程に合わせた作業療法の取り組み
島根県立中央病院 医療技術局 リハビリテーション技術科 上田 成也 56
- 23 脳梗塞発症早期から自動車運転再開支援を行い、
実車評価を経て運転再開に繋がった症例
島根大学医学部附属病院 リハビリテーション部 稗田 朝海 58
- 24 急性期熱傷患者に対して上肢機能改善と活動の拡大を支援した一経験
島根大学医学部附属病院 リハビリテーション部 後藤 雪絵 60
- 25 総合病院における精神科作業療法の取り組み
～現状と課題、今後の展望～
島根県立中央病院 医療技術局 リハビリテーション技術科 大橋 正吾 62

座長：稲田 敬典(島根県立中央病院)

- 26 歩行速度が低下した高齢者の運動認知リスク症候群の有無による
バランス機能の違い
高知大学医学部附属病院 リハビリテーション部 山本 貴裕 64
- 27 術前の消化器がん患者と健常高齢者における身体特性とバランス能力の関係
地方独立行政法人 徳島県鳴門病院 リハビリテーション技術科 森 和之 66
- 28 複数回転倒件数からみた入院時サルコペニア評価における細分化の重要性
社会福祉法人こうほうえん 錦海リハビリテーション病院
リハビリテーション技術部 足立 睦未 68
- 29 当院回復期病棟における転倒・転落の実態調査
—インシデント・アクシデントレポートからみえた傾向—
医療法人友紘会 皆生温泉病院 リハビリテーション部 小豆澤 恵理子 70
- 30 当院における転倒転落の推移
松江市立病院 リハビリテーション部 上田 正樹 72

座長：梶谷 宏一（島根県立中央病院）

- 31** 病棟生活が充実した筋ジストロフィーの症例
～ SST を用いて～
松江医療センター 佐々井 玄徳 73
- 32** 要介護5のアテローム血栓性脳梗塞の症例で車移乗にアプローチした1例
益田地域医療センター医師会病院 リハビリテーション科 甲斐 結美 74
- 33** 右片麻痺を呈し一定期間経過した患者の
麻痺側上肢の使用頻度向上を目指した取り組み
公益社団法人益田市医師会立益田地域医療センター
医師会病院 リハビリテーション科 岩田 奈津季 76
- 34** 手指伸筋腱再建後における3D プリントスプリントについて
鳥取大学医学部附属病院 リハビリテーション部 射場 靖弘 78
- 35** 術式別に評価した手根管開放術後圧痛閾値の違い
高知大学医学部附属病院 医療技術部 リハビリテーション部門 井津 直哉 80

座長：野口 瑛一（島根大学医学部附属病院）

- 36** 外科的治療後に離床時の循環動態を評価した両側副腎褐色細胞腫の一例
広島大学病院 診療支援部 リハビリテーション部門 井関 裕道 82
- 37** 回復期リハビリテーション病棟における情報共有
ーピクトグラムを導入してー
医療法人徳洲会 出雲徳洲会病院 藤原 実玖 84
- 38** 当院に入院した脳血管疾患を持つ症例の% 努力性肺活量と
日常生活動作との関連性
錦海リハビリテーション病院 リハビリテーション技術部 永岡 直充 86
- 39** 重傷熱傷患者に対する理学療法の検討
鳥取大学医学部附属病院 リハビリテーション部 内田 光俊 88
- 40** 離島に居住し、生活環境の把握が困難であったため、
間接的な手段を用いて在宅復帰につなげた症例について
医療法人友絺会 皆生温泉病院 リハビリテーション部 石田 裕樹 90

座長：永瀬 祐太(島根県立中央病院)

- 41 セルフ IOC 導入により常食摂取が可能となった延髄外側梗塞の1例
医療法人徳洲会 出雲徳洲会病院 リハビリテーション科 金築 修平 92
- 42 頭頸部癌治療後の晩発性喉頭機能障害に介入した事例
島根大学医学部附属病院 リハビリテーション部 間壁 史良 94
- 43 帯状疱疹ウイルスによる末梢神経障害で重度嚥下障害を呈した一例
島根県立中央病院 リハビリテーション技術科 石富 ひな 96
- 44 注意障害に対する tDCS (経頭蓋直流電気刺激) の経験
松江生協病院 リハビリテーション科 杉原 美幸 98
- 45 運動性失語症へ経頭蓋直流電流刺激法 (tDCS) による有用性
松江保健生活協同組合 総合病院 松江生協病院 リハビリテーション科 佐藤 好恵 100
- 46 複合低周波治療器を用い効果が認められた小児症例
鳥取大学医学部附属病院 リハビリテーション部 清水 洋子 102

座長：坪内 史子(島根県立中央病院)

- 47 松江赤十字病院における365日リハビリ勤務体制の検討と見直し
松江赤十字病院 リハビリテーション技術部 郷原 宙 104
- 48 当院における学習療法の取り組みについて
医療法人徳洲会 出雲徳洲会病院 リハビリテーション科 三島 絵美子 106
- 49 絵カード交換式コミュニケーション・システム(PECS[®])により
注意の持続が向上した最重度知的能力障害の一例
東部島根医療福祉センター 医療技術部 渡部 美沙 108
- 50 脳卒中患者の職業復帰に向けた介入と課題
米子東病院 安達 翔吾 110
- 51 7年間の長期臥床をしていた重症心身障害者にギャッジアップ座位を導入し
覚醒度や呼吸状態が改善した症例
社会福祉法人島根整肢学園 西部島根医療福祉センター
リハビリテーション技術科 堀 翔太郎 112
- 52 神経難病者における介護のポジティブな側面の解明
島根大学医学部附属病院 リハビリテーション部 森脇 繁登 114

座長：高見 由美(えだクリニック整形外科)

- 53** 早産低出生体重児の筋緊張と新版 K 式発達検査の関連
鳥取大学医学部附属病院 リハビリテーション部 成瀬 健次郎 116
- 54** 青年期の両側痙性脳性麻痺児におけるロボット支援歩行練習の即時性変化
岡山ロボケアセンター株式会社 小笠 佑輔 118
- 55** 骨切り術後のリハビリテーションに難渋した自閉症スペクトラム様の特性を持つ脳性麻痺児に対する VR リハの効果
～症例報告～
西部島根医療福祉センター 高尾 康智 120
- 56** 急性リンパ性白血病を発症した高校生がん患者に対する教育支援の成果と課題
島根大学医学部附属病院 リハビリテーション部 野口 瑛一 122
- 57** 肺気腫を合併した食道癌患者に術前強化リハビリテーションを実施し早期に職業復帰を果たした一症例
島根大学医学部附属病院 リハビリテーション部 黒崎 育美 124
- 58** 外来がん患者における運動療法の効果
松江市立病院 リハビリテーション部 井原 伸弥 126

座長：伊達 伸也(東部島根医療福祉センター)

〔 変形性膝関節症
～その予防に向けての再生医療・医療機器開発～ 〕

石川 正和 先生 香川大学医学部 整形外科科学講座 教授

特別講演2 13:45～14:45

第1会場(2F 大研修室)

座長：山本 佳昭(島根県立中央病院)

[社会的行動障害の神経基盤とリハビリテーション医療]

平岡 崇 先生 川崎医科大学 リハビリテーション医学教室 准教授
川崎医療福祉大学 リハビリテーション学部 教授

閉会挨拶 16:50～16:55

第1会場(2F 大研修室)

会長 山本 佳昭(島根県立中央病院 リハビリテーション科 部長)

第56回中国四国リハビリテーション医学研究会
第51回日本リハビリテーション医学会中国・四国地方会
プログラム・抄録集

会 長：山本 佳昭

事務局：島根県立中央病院リハビリテーション科内
〒693-8555 出雲市姫原4丁目1番地1
TEL：0853-22-5111（内線6465）
E-mail：reha-spch@spch.izumo.shimane.jp

出 版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025
<https://secand.jp/>

